

## 1. 現在の申込状況

**オンライン資格確認の導入予定施設数**（2021/2/21時点）

＜顔認証付きカードリーダー申込数＞

**74,830施設 (32.8%)** / 228,276施設

【内訳】

病院	3,530 /	8,284施設	<b>42.6%</b>
医科診療所	21,883 /	89,113施設	<b>24.6%</b>
歯科診療所	19,168 /	70,937施設	<b>27.0%</b>
薬局	30,249 /	59,942施設	<b>50.5%</b>

※ 病院の申込割合は**4割超（4県で6割超）**  
薬局の申込割合は**5割超（3県で6割超）**

※ 公的医療機関等は、**国立病院機構、労働者健康安全機構、JCHO、国家公務員共済連合会は100%、都道府県立病院92.5%、市町村立病院85%**  
（その他の公的医療機関等における申込状況は厚生労働省HPに掲載）

**目標：医療機関等の6割程度での導入（令和3年3月時点）**、概ね全ての医療機関等での導入（令和5年3月末）を目指す  
（令和元年9月デジタル・ガバメント閣僚会議決定）

【参考：健康保険証の利用の申込】

2,706,944件 カード交付枚数に対する割合 **8.2%**

【参考：マイナンバーカード申請・交付状況】

有効申請受付数：約3,766万枚（人口比 29.6%）  
交付実施済数：約3,292万枚（人口比 25.9%）

## 2. 課題

- **新型コロナウイルス感染症の影響**に加えて、メリットが分かりづらいので**開始されてから導入を検討したい**など、まだ**導入への様子見**がある。
- 病院などでは、**システムベンダによる見積もりが過大**になる傾向。

※ その他、**世界的な半導体不足**によりパソコンが枯渇しており（※特に受付の場所を取らないため需要が大きいノート型PC）、調達に遅れ

## 3. 今後の対応

- 3月末の追加的な財政支援策の締切に向けて、**全医療機関等に対してリーフレットを再送付**するとともに、**医療関係誌に広告を掲載**する。また、**導入意向調査**を行う。
- 大手システムベンダーに対して**見積の適正化を依頼**するとともに、個別医療機関からの相談に対応していく。
- **導入医療機関等における事例を紹介するHPを作成**し、導入のメリットを具体的な・イメージしやすい形で伝えていく。
- 引き続き、**三師会等医療関係団体からの働きかけ**を依頼する。2